

なぜ西アフリカ・ベナン共和国には EVD が波及しなかったのか～2014 エボラアウトブレイクから見てきたこと～

阿部文絵¹⁾、今村美帆子¹⁾、渡邊司¹⁾、
古西勇²⁾、瀧口徹²⁾

- 1) 新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究所
2) 新潟医療福祉大学

【背景・目的】本研究は新潟医療福祉大学大学院修士課程)国際保健医療学演習Ⅱの一部である。ベナン共和国はアフリカ大陸の西部に位置しギニア湾沿岸国の一つである。面積は日本の3分の1程で長さ約700km、幅約125kmと南北に細長い形をしており、トーゴ・ブルキナファソ・ニジェール・ナイジェリアと国境を接している。

今回、青年海外協力隊員としてベナン共和国へ派遣中に西アフリカにおいてエボラウイルス病 (Ebola virus disease、以下、EVD) の大流行が発生しその感染力の強さと致死率の高さは世界を震撼させた。こうした致死感染が隣接国まで迫るなかベナン共和国で感染者は一人も発生しなかった。今回その背景と要因を検討することを目的とした。

【方法】本研究で用いた資料は WHO と CDC ホームページより公表されている EVD の発生状況や対策について得られた情報に基づいて検討した。

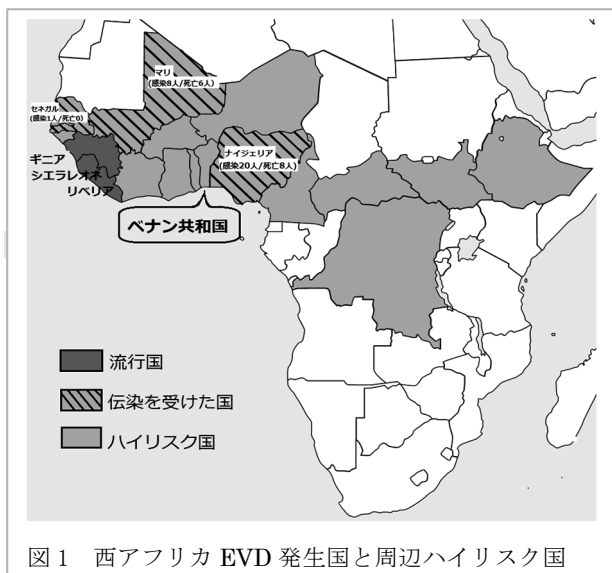


図1 西アフリカ EVD 発生国と周辺ハイリスク国

【結果】2014年3月に西アフリカギニアで発生した EVD は隣接国へ急速に拡大し瞬く間に過去最大規模の流行となった。2016年4月13日現在、WHO へ報告されている症例は計 28,616 人 (うち死亡 11,310 人) 流行国 3 カ国における国別の内訳は、ギニアで 3,814 人 (死亡 2,544 人)、リベリアで 10,678 人 (死亡 4,810 人)、シエラレオネで

14,124 人 (死亡 3,956 人) であった。

ここで、ベナンにおける三大感染症(マラリア・結核・HIV/AIDS)で見ると、マラリアは国土全てが高発生地帯であり、死因の 8.9% を占めている。結核の有病率は 89 (人口 10 万対)、HIV/AIDS は総感染者数 69,000 人、感染率が 1.1% と感染が一般人口に広がった広汎流行期にある。このように既存の致死性の高い感染症はまだまだ高値であり、感染予防および発生後管理対策が極めて不十分な状況にあると考えられる。そうした状況下、2014年7月20日に隣国ナイジェリアの首都ラゴスで EVD 感染者が確認された。ラゴスはベナンとの国境に近く、連日 1 万人が国境を往来している。WHO がハイリスク国 (図 1) に向けて発令した EVD 準備リストでは以下の 11 項目に沿って評価されている。【1.協調関係、2.迅速な対応チーム、3.住民の意識・地域社会への参加、4.感染予防とコントロール、5.EVD 感染者の扱い a)EVD 治療センター機能の強化 b)安全な埋葬、6.疫学的サーベランス、7.接触の追跡、8.国内検査室の設置または国外検査室への安全な検体輸送、9.出入り口 (空路・陸路・海路) で監視し対応できる能力、10.経費、11.後方支援体制の確立と強化】しかしベナンでは隣国ナイジェリアまで感染が迫った 7 月から 4 ヶ月後の時点でも 11 項目の評価において対策準備が整った項目は一つもなかった。

一方、ナイジェリアが実施したことを調べると、ナイジェリア北部でポリオ撲滅運動を行っていた米国の援助団体が即座に対応開始し、感染 1 例目確認から 72 時間以内に 890 人の接触者 (疑い含む) 全ての追跡調査を実施し、19,000 戸の家庭訪問、空港では 15 万人の旅客スクリーニングを開始している。追跡調査や住民への教育的な働きかけとしてとりわけ携帯電話アプリの活用が成果を出していた。

【考察】これらのことからベナンが今回 EVD の災害から逃れた主因はベナンの水際での公衆衛生対策が良かったというよりはナイジェリアの対策が功を奏した結果であると考えられる。しかしながらベナンにおいても SNS 等により情報の共有化が進み住民が挨拶の際に握手することを控えたり、外食の際には自宅から持参した食器を使うなどの行動が見られ、これらも EVD の発生予防に何らかの貢献をした可能性がある。

【結論】EVD が発生すると近親者や医療側にまで感染が起きパニック状態になるが、感染予防の基本に従い接触感染を組織的に徹底して防ぐことにより伝搬を効果的に予防されることが今回示された。またその予防は 1 国の問題ではなく周辺国が共同しておこなうべきものであり、隣接国ナイジェリアでの早期対応、徹底的な追跡、携帯電話アプリの活用によってナイジェリア国内で終息することが出来たため、ベナン共和国に EVD は発生しなかったと推定された。